論文要旨

**21世紀のビジネスが実現する多面的な価値創造**

**－リコーのモデルフォレスト事業を事例として－**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　**阪本　豪**

**大阪市立大学大学院**

　21世紀は様々な資源枯渇リスクが問題化し、SDGｓ（持続可能な開発目標）は全世界的な取り組みが望まれる。また国内では、商品のコモディティ化によって市場低迷が続いている。ただ、その対応策は新たなビジネス機会でもある。2018年における国内IPO（新規公開株）企業の事業内容を分析すると、社会・環境への価値創出に共通性が見られた。企業が多面的な価値を創造して、社会や環境の繁栄に寄与する事業を展開することで、企業自体の経済的な持続可能性を高めるビジネスモデルが期待される。

本研究では、企業が創出する保全的価値・技術的価値・文化的価値・関係性価値の４つを論点としている。企業活動における環境的側面や社会的側面が企業価値そのものの向上に寄与する価値ネットワークモデルにより、環境経営で先駆的なリコーのモデルフォレスト事業を事例として検証した。検証結果により、多面的価値創出の有効性、ESG活動要素の相互関連性が明らかとなった。